

正の数, 負の数 (1)

正の数と負の数

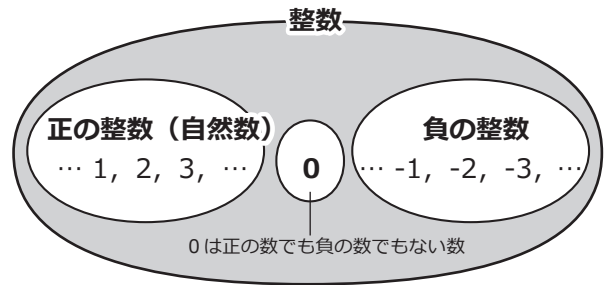
0を基準にして数を考えるとき、0よりも大きい数を**正の数**といいます。

正の数には**正の符号** ^{プラス} **+** を付けて表すことがあります。

0よりも小さい数のことを**負の数**といい、**負の符号** ^{マイナス} **-** を付けて表します。

自然数

正の整数のことを**自然数**ということがあります。



【1】 次の数について、正の符号または負の符号をつけて表しなさい。

(1) 0よりも4大きな数

(2) 0よりも0.7大きな数

(3) 0よりも3小さな数

(4) 0よりも3.9小さな数

答え (1) **+4** (2) **+0.7** (3) **-3** (4) **-3.9**

【2】 次の数の中から、負の数をすべて答えなさい。

+2 -5 +11 0 +2.5 -3.2 $-\frac{1}{2}$ $+\frac{2}{3}$

答え **-5, -3.2, $-\frac{1}{2}$**

【3】 基準となる地点Aから10m北の地点のことを+10mと表すとき、次の(1)、(2)はそれぞれどの地点のことを表しますか。

(1) +8m

(2) -11m

答え (1) **(地点Aから)8m北の地点** (2) **(地点Aから)11m南の地点**

【4】 負の小数, 負の分数を, それぞれ一つずつかきなさい。

答え 負の小数 **-0.1, -2.6** など 負の分数 **$-\frac{1}{2}, -\frac{3}{5}$** など